

JABEE 広告特集

INFORMATION

【住所】〒940-2188
新潟県長岡市上富岡町1603-1
【TEL】0258-46-6000(代)
【学部・学科】工学部：機械創造工学課程／電気電子情報工学課程／材料開発工学課程／建設工学課程／環境システム工学課程／生物機能工学課程／経営情報システム工学課程
【大学院】工学研究科修士課程：機械創造工学専攻／電気電子情報工学専攻／材料開発工学専攻／建設工学専攻／環境システム工学専攻／生物機能工学専攻／経営情報システム工学専攻
工学研究科博士後期課程：情報・制御工学専攻／材料工学専攻／エネルギー・環境工学専攻／生物統合工学専攻
技術経営研究科専門職学位課程：システム安全専攻
【その他】2006年4月に国内初の専門職大学院「システム安全専攻」を開設、博士後期課程には生物統合工学専攻を新設しました。本年10月1日には開学30周年を迎え、小さくてもきらりと光る大学を目指します。

長岡技術科学大学 [国立大学] 法人

機械創造工学課程、建設工学課程、材料開発工学課程、電気電子情報工学課程、環境システム工学課程

高等専門学校と連携を図りながら JABEE認定を実現



教授 福澤 康 学長 小島 陽

今年 10月に開学30周年を迎える長岡技術科学大学は、高等専門学校卒業生を主として受け入れる、という構想のもとに生まれた国立大学である。高専生を学部3年に受け入れ、実践的かつ創造的能力を備えた指導的技術者の養成を目指し、1976年の創立当初から学部・大学院修

士一貫教育の制度を貫いている。「今も学生の8割が高専の卒業生ですが、その特色がJABEE受審の際に苦労した点でもありました」と長岡技術科学大学の小島陽学長は振り返る。「一人ひとりの学生が高専で、どんな科目、教育を受けてきたのか。それが大学で行う教育と同等であることからです。こうした中、いち早く高専との連携に取り組み、シラバスの入念なチェックなどを行って、2003年に機械創造工学課程、建設工学課程、2004年に材料開発工学課程、2005年に電気電子情報工学課程、環境システム工学課程でJABEE認定を獲得しました」。

「JABEE受審を目指す中で、これまでの教育体系の見直しや教員の意識にも変化がありました」と学内でJABEE対応検討部会長を務める福澤康教授は付け加える。自立した技術者の育成を掲げ、選択制だった技術者倫理科目を必修に変更。また、学生が理解しやすいようシラバスの内容に吟味を重ねたり、授業後にアンケートを行うなど学生と意思の疎通を図るよう努めている。「JABEEから評価を受けることで自己チェック機能が働き、授業の質向上というシナジーを生んでいます。研究に偏重しがちな大学に『教育も重要』という意識が根付いてきたと実感していますね(福澤教授)」。カリキュラムの中でも、JABEE審査員から最も評価が高かったのは、学部4年の10月から翌年2月にわたって約4カ月半の長期間行われる「実務訓練」だ。今で言うインターンシップだが、産学連携を大前提として誕生した長岡技術科学大学では開学当初から必修で実施してきたというから驚かされる。

「日本を代表する一流企業や官庁・海外企業に至るまで、実に幅広く学生を受け入れていただいています。実務訓練は学生が社会との接点を持つ絶好の機会です。この経験を通じて技術に対する社会の要請を知り、自分が学んでいる学問の意義を改めて認識する。その過程で大学院修士課程への進学における研究テーマの選定はもちろん、今後技術者として、どのように進んでいくのかを自身で描いて欲しいと願っています」と小島学長は力を込めています。

長岡技術科学大学では、残り2課程についてもJABEE認定の取得に向けて現在、準備を進めている。卒業証書と一緒に手渡される同学のJABEE修了証が、徐々に産業界でも存在感を増しつつある。